



WATSONSAPCIAEFOOLYU?

## 考古学とは

「過去のモノから、人を学び・問い合わせ・活かす」  
それが考古学。

何を学び、どのように問い合わせ、どんな風に  
活かすかは、人それぞれ。

「過去のモノから、古代人を愛し・楽しみ・  
発信する」それが「きゅーはく女子考古部」。

何を愛し、どのように楽しみ、どんな風に  
発信するかは、部員それぞれ。

## きゅーはく女子考古部とは

九州国立博物館が考古好きの女子のために発足した  
部活。約20名の女子が毎月1回楽しく活動していま  
す。活動の内容は、古墳めぐりや古代食作りなど、部  
員がやりたいことを決めて実施。わからないことは  
きゅーはくの考古担当研究員がやさしく指導します。

毎月の活動報告など詳しくは  
きゅーはく女子考古部のホームページで！

きゅーはく女子考古部



# 古代染色に挑戦

リッチな紫と  
燃える赤

布をさまざまな色に染める技術は、なんと弥生時代にも存在していました。染料は、貝や植物など自然のものから作ります。出土品には色はありませんが、古代の生活もいろんな色で囲まれていたのかも。

貝  
紫

貝紫に染めるには、イボニシという全長2cm前後の小さな貝の、さらに小さな器官を使います。とても貴重な色だったので、限られた人しか身につけることができない、高貴かつ権力を表す色でした。染める過程で色が変化する様子が神秘的です。

染料のつくりかた



1. ブロックの上にイボニシ貝を置き、かなづちで殻を割る。



2. ピンセットでパープル腺という器官を取り出す。  
黄緑色の細い線がパープル腺！



3. すり鉢にたくさんのイボニシのパープル腺を集め、塩水を加えながらスリコギですりつぶす。

塩水を加える事で、発色が良くなります。

染めかた



1. 染料を筆にとり、好きな模様を描く。



2. 1を日光にあてる。  
染料が紫色に変化！



完成！

茜

「茜」という文字は、染めた布が、夕焼け時の西の空の色のような赤色になることが由来です。茜草の根を染料として使います。白い可憐な花からは想像がつかない、燃えるような赤です。

染料のつくりかた



1. 洗濯ネットに茜草の根のチップを入れ、水洗いをする。しばらく洗う。

赤い色素のほかに、水溶性の黄色の色素が含まれている。この黄色の色素を洗い流すことで、より綺麗な赤に染まる。



2. 鍋にチップと水をいれ、70度～80度で1時間ほど煮出す。赤い色素をしっかり煮出したら、茜を取り出す。

媒染液の準備



左側が椿灰、右側がミョウバンで媒染してから染めた布

染めとは、布を薬剤などに浸して染料を着せる工程のこと。媒染に使う薬剤のことを媒染液といい、種類によって発色の程度（=染料の定着の度合）が異なる。今回は椿灰とミョウバンを準備。椿灰は淡く染まり、ミョウバンは椿灰よりも鮮やかな赤に染まる。

上のバケツがミョウバン液、下のバケツが椿灰液



・椿灰  
深めのバケツに水と椿灰を入れる。灰が沈殿するまで待ち、上澄みを使う。

上のバケツがミョウバン液、下のバケツが椿灰液



・ミョウバン  
深めのバケツに水とミョウバンを入れる。よくかき混ぜる。

染めかた

1. 布に含まれる脂分などによって染料がはじかれないようにするため、布を洗剤などで洗い、乾かす。弥生時代に多く使われた絹は、色が染まりやすい。今回はお財布と相談の上、木綿に！

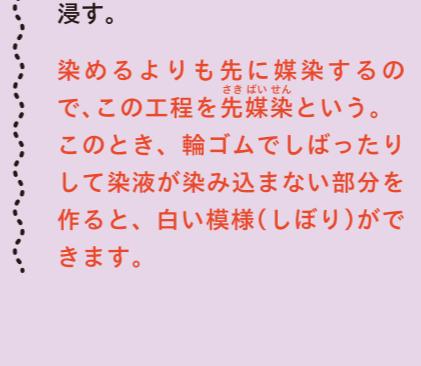


2. 媒染する。好みで椿灰の液か、ミョウバン液のどちらかに布を浸す。

3. かたくしぼり、70度～80度の染料に20分程度浸す。ムラにならないように、菜ばしなどで布をかき混ぜ続ける。



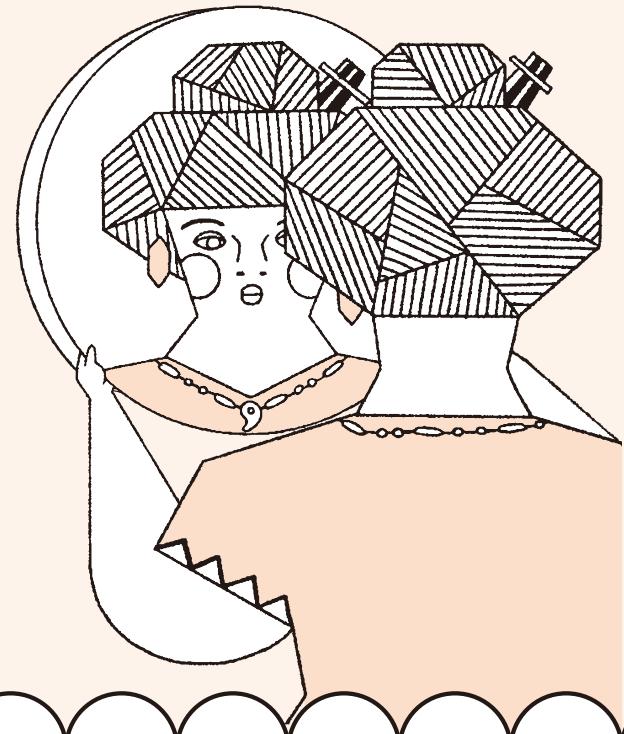
4. が乾いたら、水で洗う。染料が水に溶け出さなくなるまで洗う。



5. 3をしぼって天日干しする。



# 古代の ファッション 楽しむ



ENJOY  
THE ANCIENT  
FASHION



## 服

『貫頭衣』…一枚の布の中央に穴をあけ、そこに頭を通して着る古代の衣服

### 貫頭衣を作る



古墳のかたち、装飾古墳の壁画、埴輪、土器文様、銅鐸に描かれた絵、古代の瓦…などなど。  
好きな文様を描きました。

## 髪型

『まげ』(女性)と『みずら』(男性)…

出土した古墳時代の埴輪の髪型を参考にしています。

みずらはたくさん種類があり、偉い人物は長い「下げみずら」だったとか。

### 髪を整える



まげ  
カチューシャや櫛に、綿をつけて形を作ります。  
その上から、黒い毛糸をぐるぐる巻いて完成！髪の長い人は、地毛でもOK！

## アクセサリー

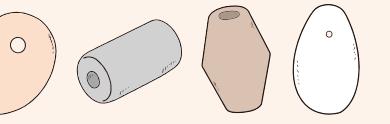
『櫛』…縄文時代の櫛が見つかっています。素材は木。

古代の櫛は、髪をとくほかに、飾りとしても使われていたようです。

『勾玉と管玉』…勾玉は「9」のかたちだけではなく、

いろんなかたちがあります。

『耳環』…古代からある耳飾りです。



### 櫛を作る



竹串を適度な長さに切って、  
好きな色の糸を使って固定します。  
マニキュア(漆のつもり)を塗ってもかわいい！

## メイク

刺青なのか、お化粧なのか…。  
埴輪や古代のお面には、顔に模様が入ったものがあります。



## 装飾古墳

やまと  
山鹿市

### チブサン古墳 国史跡

築造時期：6世紀前半

形：前方後円墳

「石屋形」という家形の石棺が特徴の古墳。屋根の全体や壁の内側に、赤・白・黒の三色でさまざまな文様がはっきり描かれています。



チブサン古墳の石室と石屋形の実寸大模型。文様がはっきりわかります。

山鹿市

### オブサン古墳 国史跡

築造時期：6世紀後半

形：円墳

「産さん」が由来ともいわれ、安産の神様として信仰されています。現在はよく見えませんが、石室の仕切り石に連続三角文などの文様が描かれているのが特徴です。



綺麗に整備された墳丘。青空との対比がさわやかです。

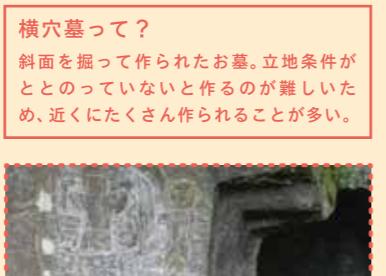
山鹿市

### 鍋田横穴 国史跡

築造時期：7世紀

形：横穴墓

崖面に作られた、全部で61基の横穴墓。そのうち16基に装飾があります。現在はよく見えませんが、石室の仕切り石に連続三角文などの文様が描かれているのが特徴です。



横穴墓って？  
斜面を掘って作られたお墓。立地条件がととのっていないと作るのが難しいため、近くにたくさん作られることが多い。

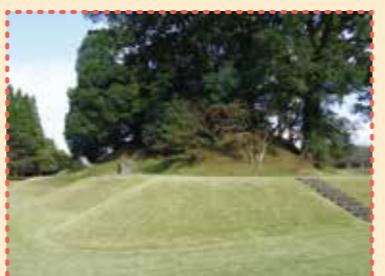
玉名郡

### 江田船山古墳 国史跡

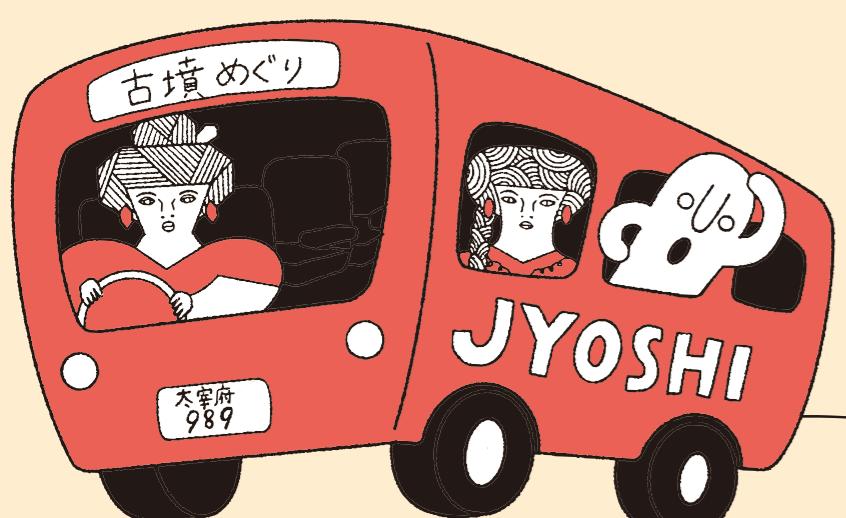
築造時期：5世紀後半

形：前方後円墳

刀劍や銅鏡、玉、耳飾、冠、甲冑、馬具、須恵器など、出土した全92点の副葬品がすべて国宝です。まさに古墳界のスーパースター！出土品は、東京国立博物館に展示されています。



周溝を含めると、全長77mにも及ぶ規模の前方後円墳です。



# 古墳めぐり バスツアーエン熊本

日本随一の装飾古墳王国へ

装飾古墳とは、文様や絵で石室が飾られた古墳のこと。なんと、熊本県は全国で最も装飾古墳が多いんです！日帰りバスツアーで満喫してきました。けれどもこれらは、熊本県の古墳のほんの一部。

## 見学施設

### 熊本県立装飾古墳館

文様や構造の細部まで実寸大で再現された、熊本県内の古墳の模型がたくさんあります。熊本地震で被災し、今では見学者が叶わない古墳の姿も見ることができます。

### 山鹿市立博物館

山鹿市を中心とした菊池川流域の考古資料のほか、歴史資料や民俗資料を展示しています。敷地内にある、チブサン古墳とオブサン古墳の石室が見学可能です（チブサン古墳のみ有料）。

## 女子考古部の活動の定番

# 古仕食づくり

## 古代米雑炊

### [材料]

- ・白米
- ・古代米（赤米、黒米）※白米1合に対してスプーン3杯程度（目安）
- ・椎茸
- ・生姜
- ・塩

### [手順]

材料と水を鍋に入れ、火をつけ、煮立たせたら出来上がり。

## 鶏の石蒸し焼き

### [材料]

- ・鶏一羽（中抜き）
- ・長ネギ
- ・生姜
- ・塩

### [手順]

1. 土の上に石を敷き詰める
2. 石をたき火で焼く
3. 鶏の中抜き部分に材料を詰めてアルミホイルで包む
4. 鶏肉を2の焼き石の中に入れて土で埋める
5. さらにその上から火をたいて1時間ほどじっくり蒸し焼きにする

## 古代食レシピ

## 貝だしスープ

### [材料]

- ・あさり
- ・大根
- ・里芋
- ・塩
- ・生姜

### [手順]

材料と水を鍋に入れ、火をつけ、煮立たせたら出来上がり。

## どんぐりクッキー

### [材料]

- ・どんぐり（どんぐり粉）200g
- ・小麦粉 50g ※どんぐりと小麦粉は4:1の割合
- ・牛乳 100ml
- ・卵 2個
- ・はちみつ 大さじ3
- ・塩 少々
- ・白ごま →多い方が香ばしさが増してgood!

### [手順]

1. どんぐりを炒って皮を割る
2. 丼と臼ですり潰す
3. 材料を全部混ぜ合わせる
4. 木べらを使い、弱火～中火でひたすらかき混ぜる
5. 指先で1mmの厚さにする
6. フライパンで弱火で焼く（10分程度）

古代の人たちがどんな風にご飯を作っていたのか、自分たちも体験したい！ということでやってきたのは、福岡県朝倉市にある平塚川添遺跡公園。弥生時代の遺跡を再現した国指定史跡です！園内には、竪穴住居や倉庫などが再現されています。

今はコンロに鍋を置いて材料を入れ、スイッチを入れれば簡単に煮炊きができますが、古代はそうはいきません。コンロもない、マッチもない、スマート家電は何者だ、という時代の料理ですから大変です。炉を作り、火を起こし、火加減も風と薪の量で調節するという超アナログ料理。慣れない作業に部員同士助け合いながら、お昼ご飯を食べる、という一つの目標に向かって一生懸命知恵を絞り、力を合わせます。

炉が完成すると歓声があがり、火が起きたと拍手が起こる。大変だけど、みんなであーでもない、こーでもない、とやるのは実は結構楽しい。

そして苦労して作った料理をみんなで食べる喜びはひとしおなのです。古代の人々に敬意を示しつつ、文明の利器のありがたみをしみじみ感じた一日でした。



# 土器作り

展示室で見る土器や埴輪。弥生土器なんてシンプルだし、埴輪も小さいサイズならマネして作るのなんて簡単、簡単！なんて思ったら大間違い。均等な厚さに土を積み上げていくだけでもとても難しいのに、弥生土器なんてどうやって作ったの？あんなに大きな埴輪も！ましてや縄文土器なんて！作ってみてわかった先人の技。脱帽です。



どろがま  
泥窯で焼きました！



# 古代のムラ作り

自分たちのムラが作りたい！ということで、縄文時代～古墳時代の要素が交じり合ったパラレルワールドのムラができあがりました。山、川、海、平地などの地形に住居、農地、古墳などを作っていきます。縄文時代は丸木舟での漁労、弥生時代はなんといっても水田稻作、古墳時代といえば前方後円墳などなど。自分だったらどの時代の集落に住むかなー、何をして暮らすかなー、なんて妄想しながら作りました。薄い発泡スチロールのパネルを積み上げて地形を作り、その上に砂を敷き詰めて地面をつくります。緑の芝生で平地を、水色の砂で川を表現。ムラの住人は女子考古部員です。



ムラ完成！



ムラの完成イメージ

縄文時代、丸木舟で漁に出る

縄文時代の貝塚と丸木舟

古墳時代、島で塩づくり

弥生時代の水田

古墳時代の登り窯。一区画ずつ手分けして制作

# 古代山城～大野城ツアー!

女子考古部員が山歩き！古代山城『大野城』の形跡をたどりました。



## 大野城ってこんなところ

### いつ、どこに、なぜ、建てられた？

663年、日本は唐(現在の中国)と新羅(現在の朝鮮半島にあった国)の連合軍に、白村江(朝鮮半島にあった場所)の戦いで敗れてしまいます。「このままでは日本にまで、連合軍が攻めてくるかもしれない！」と考えた当時の人々は、北部九州に急いで防衛施設を築きました。その中のひとつが大野城！665年に、福岡県の3つの市町にまたがる現四王寺山に築城されました。

### 天守閣がない、土壘に囲まれたお城

大野城の周囲には、ぐるっと尾根がめぐっています。この尾根に沿うようにして、土壘が築かれました。土壘の内側には、70棟以上の建物が見つかっており、食糧倉庫や、兵たちの寝泊りする建物があったとされています。大野城全体の面積は東京ドーム約60個分です！

## 土壘とは？

土でつくった城壁。大野城には朝鮮半島から伝わったとされる版築(土や砂を数センチ積むごとに、上から棒でつき固めていく技法)で土壘が築かれている。



### 女子考古部のおすすめポイント／

## 大野城マップ

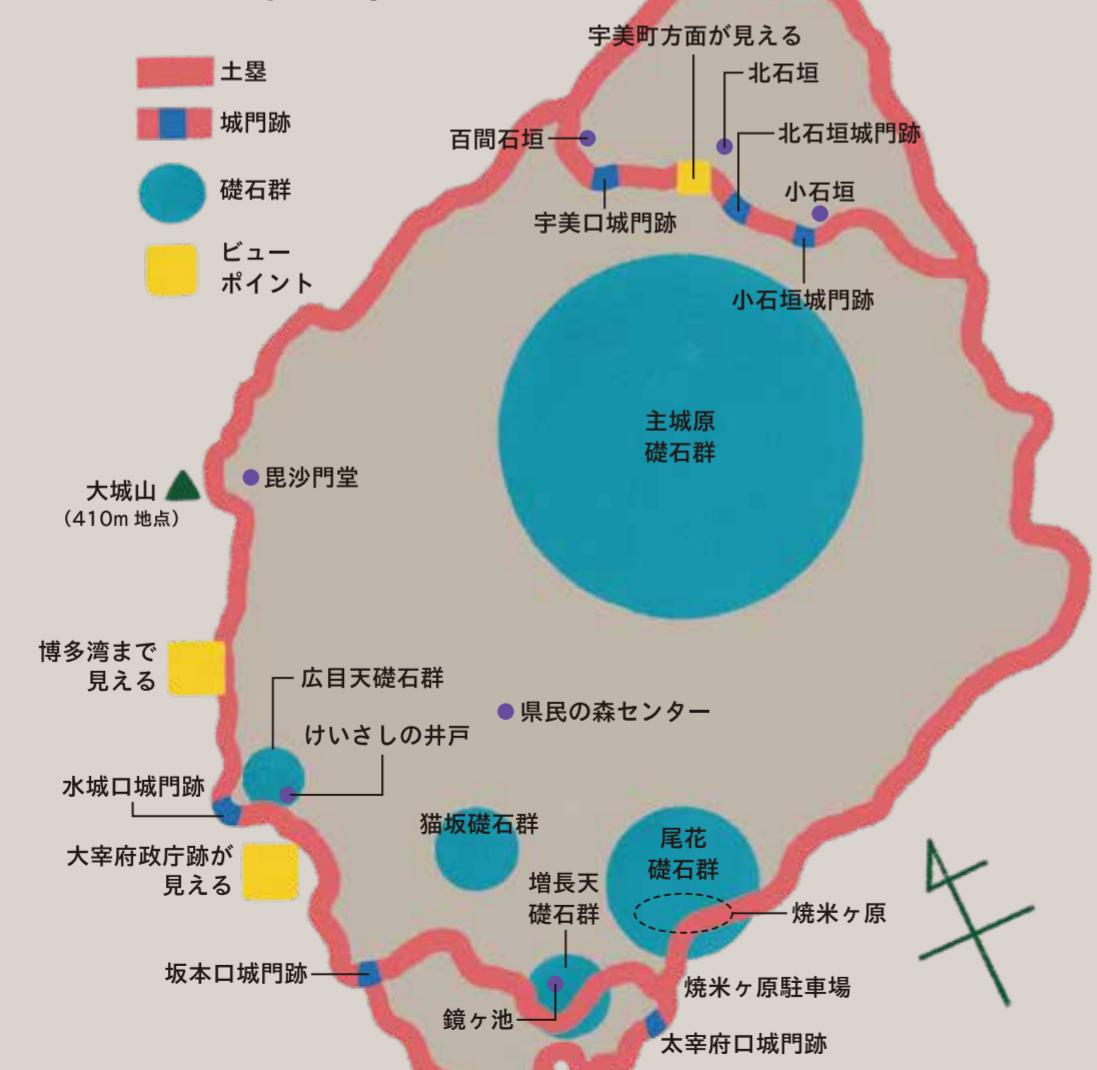
土壘

城門跡

礎石群

ビュー

ポイント



## 県民の森センター

憩いの場。宇美口城門跡から出土した唐居敷は必見。



## 焼米ヶ原～尾花礎石群

10棟以上の高床倉庫があり、米の貯蓄場所だったとされる場所。炭化米が見つかっている！



## 太宰府口城門跡

しっかりと積まれた立派な石垣が見どころ。城門は古代に3回ほど改築され、付近からは城門の屋根に置かれていたであろう鬼瓦が3つ出土している。



## 猫坂礎石群

県民の森センター近くの、少し小さめの礎石群。

## 水城口城門跡

ここから山を下ると、大野城と同時代に築かれた防衛施設、水城にたどり着く。



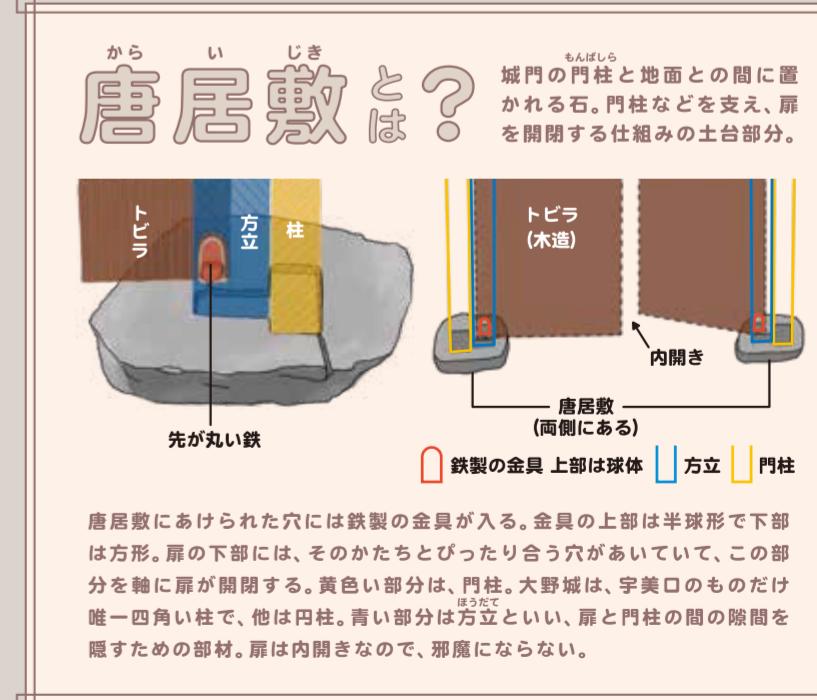
## けいさしの井戸

円形の井戸。石積みは鎌倉時代以降のものと考えられている。



## 礎石群とは？

大野城はアップダウンのある地形なので、平らな場所を選んで、建物が建てられた。そういう場所には建物の礎石がたくさん残っている。礎石とは、建物の柱の下に敷かれた、土台となる石のこと。



## こう もく てん 広目天礎石群～毘沙門堂

新羅の呪詛に対抗するため、774年に建てられた四王院というお寺と関わりがあったとされる場所。四王院自体は戦国時代に焼失したと考えられる。



## おお ぎ やま 大城山山頂

大野城の中で最も高い地点。標高410m。



## さか もと ぐち 坂本口城門跡

唐居敷が片側しか残っておらず、残っている方も、おそらく本来の場所から流れ落ちたと考えられる。

## かがみ が いけ ぞう ちょう てん 鏡ヶ池～増長天礎石群

鏡ヶ池は今まで一度も枯れたことがないという池。日照りが続いたときは、ここで雨乞いの儀式をしていたともいわれている。増長天礎石群の横にある。



## しゅ じょう ばる 主城原礎石群

20棟ほどの建物群の跡。建物の礎石はもちろん、基礎部分の盛り土が崩れるのを防ぐ石「外護列石」も残っている。



外護列石

## きた いし がき 北石垣

実は斜面の表面に石を貼り付けただけ。こうした石垣は、貼石垣とよばれる。(逆にすべて石が積まれている石垣は総石垣とよばれる)

「この城、頑丈そう！」と敵を怖気づかせるため、また、見た目を立派にして権威を見せるために築かれたもの。



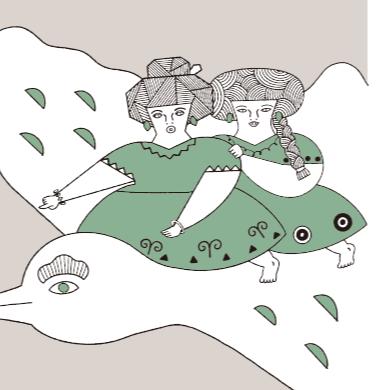
北石垣から見える景色

## こ いし がき 小石垣城門跡(小石垣) ～北石垣城門跡～宇美口城門跡

三つの城門は二重土塁になっている部分の内側土塁線上に作られた。

## ひやつ けん 百間石垣

長さ約180m！大野城の中で最大規模の石垣。



## きゅーはく女子考古部

顧問 小嶋 篤

副顧問 今井 涼子、川村 佳男、小澤 佳憲

無津呂 健太郎、齋部 麻矢

マネージャー 西島 亜木子、山室 翔子、井上 祥子

## 女子的考古学のススメ

発行日 2020年3月7日

発行元 九州国立博物館

デザイン・イラスト DICTOM DESIGN

本冊子は九州国立博物館賛助会費を用いて作成しました

## ご協力頂いた施設

### 「古代染色に挑戦」

吉野ヶ里歴史公園

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手1843

tel:0952-55-9333

### 「古代食づくり」

平塚川添遺跡公園

福岡県朝倉市平塚444-4

tel:0946-21-7966

(平塚川添遺跡公園)  
0946-28-7341

(朝倉市教育委員会文化・生涯学習課)

### 「土器作り」

小郡市埋蔵文化財調査センター  
古代体験館おごおり

福岡県小郡市三沢5147-3

tel:0942-75-7555

## 九州国立博物館

福岡県太宰府市石坂4-7-2(太宰府天満宮横)

050-5542-8600

(NTTハローダイヤル 8:00~22:00／年中無休)

文化交流展示室には考古資料がたくさん！  
年間300回の展示替えがあるので、  
来るたびに新しい発見がありますよ！

詳しくは九博ホームページへ！ [www.kyuuhaku.jp](http://www.kyuuhaku.jp)



開館時間

日曜日・火曜～木曜日

9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）

金曜日・土曜日【夜間開館】

9時30分～20時00分（入館は19時30分まで）

\*開館時間は変更されることがあります。

休館日

月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）、年末

観覧料

【文化交流展】

大人 430円(220円)、大学生 130円(70円)

\*（）内は団体料金(有料の方が20名以上の場合)

\*2020年4月1日以降  
大人 700円、大学生 350円(団体料金は廃止)

\*障害者手帳等をご持参の方およびその介護者1名、

高校生以下、18歳未満、70歳以上、キャンバスメンバーズ会員は無料です。展示室入口で証明書をご提示ください。詳しくはHPでご確認ください。